

総合型選抜(適性検査型) サンプル問題

国語

(試験問題：70 分)

1

次の文章は『うつほ物語』の一節で、右大臣橘千蔭の子息であった忠こそが事情があつて姿を消した後のことが述べられている。これを読んで問いに答えなさい。

帝は A にあらむと思して、父大臣は内裏に候ふらむと思して二十日ばかりになりぬる時に、内裏より、忠君召しに、
*蔵人所の小舎人来たり。

大臣、驚き給ひて、「内裏には候はずやは。先つ頃、①あからさまにまかでたりしかど、②ここには侍らず、久しくなり侍り」と驚き騒ぎ給ふ。御使、「忠君は、候ひ給はで久しくなりぬ。『一日、③許され給はざりける御暇を責めてまかで給ひにしままに、参り給はず』とてなむ、④頭の君など、急ぎ奉り給へる」。大臣、「ここにはあからさまにまかでたりしかど、『許されざりしを、しひてまかでつるなり』と申ししかば、帰り参りたるとなむ、日頃思ひつる。内裏にも候はざなれば、ただ今あやしがり求めさせ侍り」と⑤奏せさせたまひて、B を分ちて、大願立てて求めさせ給へど、なし。内裏よりも、御使を分ちて求めさせ給へど、聞こえず。

内裏より大臣召す。大臣、かしこきこと⑥聞こし召したなり、*あらぬまでも恐ろしとて参り給はず。たち替はり召すに、かしこまりて参り給ふ。上、久しく参り給はぬことなど仰せ給ひて、「忠は⑦などかななる。そこにはいつばかりか見えし」とのたまふ。「見え侍らでこの二十日ばかりになり侍りぬ。上、「ここにも、見えでさばかりに⑧なりぬ。⑨せちに暇を請ひしかば、『*童部もなき折わらはなるを、しばしはなもののせそ』と言ひしかば、『そこに悩み給ふとあり、とぶらひにものせむ』と言ひしかば、やむごとなきことにこそあ⑩なれとて、『あからさまにまかで、ただ今ものせよ』と言ひしままになむ⑪見えぬ。ところどころに求むれどなかんだなるはいかなるぞ」とのたまへば、「千蔭もここばく求めさせ侍るに、侍らぬは、世の中になくなりたるにこそ侍るめれ。侍らましかば、まさに見て侍らましかば」とて泣き給ふことかぎりなし。

*上、「心憂しと思ふべきことやものせられし。⑫ここにはたさ思ひぬべきこともものせぬを、いかに思ひてにかあらむ。交じらひのついでにも、*こともなき人なれば、思ひ倦うんずべきこともあらじ。⑬ただにてはよに隠れじ。親ばかりの責めのた

まはむにこそ、倦ずることもあらめ」。大臣、「ここにも*のたまふことも侍らず。深きことにも侍らざりしを、いかなることにか侍らむ、人の告げ*給たびしかば、いとIあやしくおぼえ侍りしかど、ともかくものたまはで、『IIたいだいしきこと侍るなり。今はえかへりみるまじくなむ』とばかりのたまふことありし」。『それに倦じたるななり。いささかなる気色も見せ給はず、かたじけなく恐ろしき者にならし給たうべるに、許されぬ気色のありけむに、思ひ倦じにけるならむ。いかやうなることをか聞き給たうびし』。『千蔭が上うへに災ひなることを奏し侍りけるとなむ承りし』。帝、「さらに言ふことなし。人の上にX言ふことなかりし人なり。いはむや、さらに親の上には言ひてむや。心を⑩知れらむ人は、さる逆さまのことを言ふとも、まことと思ほしなむや。このことは、さだめて知りぬ、人にはかられ給へるななり。不便ふびんなることなれど、*左大臣の上、昔よりよろしからず、心聞こゆる人なり。そのわたりより言ひ出いだしたることななり」。大臣、⑫ともかくも聞こえ給はで泣く泣くまかで給ひぬ。

かくて思ほすに、*帯よりはじめてさまさまあやしきことどもをするは、一条のするなりけり、*故君の今々となり給ふまでにのたまひ置きしことに従はましかば、我が子を失はましや、けしからぬところに通ひ行きて、悲しきことを見ること、腹汚きことも、返す返すのたまひけりと思し嘆きつつ、公事おほやけことも知り給はず、ただ*潔斎いもひ・精進さうじをし給ひて、忠こそにあひ見むとのみ行ひ給ふ。

〈注〉 *藏人所の小舎人：藏人所に属し、雑用にあたった官人。

*頭：藏人の頭。小舎人の上司にあたる。

*あらぬまでも：身に覚えがないとしても。

*童部：殿上童のこと。「殿上童」は、宮中の儀式・作法を見習うために、上流貴族の子弟が清涼殿の殿上の間に出仕すること。忠こそ殿上童であつた。

*上：帝のこと。

* こともなき…欠点がない。

* のたまふ…動作の主体は橘千蔭自身。この発言の中に用いられる「のたまふ」は、すべて千蔭自身が忠こそに言い付けたことを表している。

* 給びしかば…「給（た）ぶ」は「給（たま）ふ」が変化してできた語で、意味は「給ふ」と同じ。後出の「給（たう）ぶ」も同じ。

* 左大臣の上…故左大臣の北の方。未亡人となつてから橘千蔭と再婚した。後出の「一条」も同じ人物を指す。

* 帯…かつて橘千蔭の帯が紛失したことがあった一件をいう。

* 故君…橘千蔭の北の方で、忠こその実母にあたる。すでに故人となっている。

* 潔斎・精進…神仏に祈願するために心身を浄め、行動を慎むこと。

北の方（故君）

忠こそ（忠君、忠）

橘千蔭（父大臣、大臣）

故左大臣の北の方（左大臣の上、一条）

※（ ）内は文中での呼称

問一 空欄 A・B に入る語の組み合わせとして最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 1 にマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ① | A―里 | B―手 | ② | A―宮 | B―足 |
| ③ | A―山 | B―指 | ④ | A―外 | B―目 |

問二 傍線部①「あからさまにまかでたりしかど」の解釈として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 2 にマークしなさい。

- ① 忠こそは確かに内裏に参上していたけれども
- ② 忠こそはかりそめに内裏から退出して来ていたけれども
- ③ 私は一時的にある所へ出かけておりましたけれども
- ④ 私は長い間内裏への出仕を怠っておりましたけれども

問三 傍線部②「許され給はざりける御暇を責めてまかで給ひにし」とあるが、ここからどういうことがえるか、最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 3 にマークしなさい。

- ① 帝に叱責されたために、忠こそが内裏から退出していたこと。
- ② 忠こそが、やつのことで帝の許しを得て内裏から退出したこと。
- ③ 忠こそが、許可を得ずに勝手に邸に帰ってしまったこと。
- ④ 帝が、忠こそが休暇をとったことに腹を立て、自室に籠もってしまったこと。

問四 傍線部③「^{とう}頭の君など、急ぎ奉り給へる」とはどういうことか、最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号

4 にマークしなさい。

- ① 帝が、橘千蔭父子の行方を探し出すために、蔵人頭たちを急いで方々に派遣したということ。
- ② 帝が、蔵人頭たちを派遣し、忠こそが姿を消したことを急いで橘千蔭に知らせたということ。
- ③ 蔵人頭たちが、忠こそが家出をして姿を消したことを急いで帝に報告したということ。
- ④ 蔵人頭たちが、忠こそその所在を確かめようと、小舎人を橘千蔭の邸に急いで派遣したということ。

問五 傍線部④「奏せさせたまひて」とあるが、橘千蔭は誰にどういうことを伝えたのか、最適なものを次の中から選び、

その番号を解答番号 5 にマークしなさい。

- ① 帝に、とつくに戻ったとばかり思っていた忠こそが内裏にいないのは心配なので、これから自分で忠こそその行方を探すつもりだということを伝えた。
- ② 帝に、自分はしばらく邸を留守にしていたところで、内裏の様子もよくわからないので、帝の方で忠こそその行方を探してほしいということを伝えた。
- ③ 小舎人に、忠こそは帝の不興を買って邸に戻って来たようなので、忠こそが罪に問われないように帝にうまくとりなしてほしいということを伝えた。
- ④ 小舎人に、忠こそが帰って来たと聞いて自分も急いで戻って来たのに、忠こそはすでに姿を消していたので、事情を教えてほしいということを伝えた。

問六 傍線部⑤「聞こし召し」は誰から誰に対する敬意を表しているか、最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 にマークしなさい。

- ① 作者から帝に対する敬意 ② 作者から橘千蔭に対する敬意
- ③ 橘千蔭から帝に対する敬意 ④ 帝から橘千蔭に対する敬意

問七 傍線部⑥「などかなかなる」の文法的説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 にマークしなさい。

- ① 副詞＋疑問を表す係助詞＋形容詞の未然形＋断定の助動詞
- ② 副詞＋疑問を表す係助詞＋形容詞の連体形＋伝聞・推定の助動詞
- ③ 副詞＋反語を表す係助詞＋形容詞の連体形＋断定の助動詞
- ④ 副詞＋反語を表す係助詞＋形容詞の未然形＋伝聞・推定の助動詞

問八 二重傍線部 a、d のうち助動詞でないものを選び、その番号を解答番号 にマークしなさい。

- ① a 「なり」 ② b 「なる」
- ③ c 「なれ」 ④ d 「なる」

問九 傍線部⑦「せちに」の「せち」に当てる漢字として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 にマークしなさい。

- ① 拙 ② 接 ③ 節 ④ 切

問十 傍線部⑧「見えぬ」とあるが、忠こそが姿を消すに至るまでの事情を帝はどう説明したか、最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 10 にマークしなさい。

① 帝は、忠こそ以外の殿上童が欠勤しているので出仕を促しに行くよう忠こそに命じたが、忠こそはその言い付けに従うふりをして内裏から退出し、そのまま連絡を断ってしまった。

② 帝は、橘千蔭が政治的な悩みを抱えていることに気づき、忠こそにその内容を聞き出してくるよう命じたが、忠こそはそれをひどく嫌がり、無断で内裏から姿を消してしまった。

③ 帝が、相談相手として頻繁に内裏に来るように忠こそに求めたところ、それを重圧を感じたのか、忠こそはすぐにまた参内すると言い残して退出したまま姿を消してしまった。

④ 帝は、忠こそにしばらく休暇をとらないよう求めたが、病気の父を見舞いたいという言い分をむげできずに休暇を許したところ、その後忠こそからの連絡が途絶えてしまった。

問十一 傍線部⑨「ここにはたさ思ひぬべきこともものせぬ」とはどういうことか、最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 11 にマークしなさい。

① 忠こそもまた帝が嫌だと思いうようなことは言っていないということ。

② 橘千蔭もまた帝が嫌だと思いうようなことは言っていないということ。

③ 帝もまた忠こそが嫌だと思いうようなことは言っていないということ。

④ 帝もまた橘千蔭が嫌だと思いうようなことは言っていないということ。

問十二 傍線部⑩「ただにてはよに隠れじ」の解釈として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 12 にマークしなさい。

- ① 忠こそは何の理由もなくては決して姿を消さないだろう。
- ② 忠こそは何か魂胆があつて行方をくらましたのだろう。
- ③ 忠こそがこの世に嫌気がさしたのはまちがいないだろう。
- ④ 忠こそがあなたを嫌っているのは紛れもない事実である。

問十三 傍線部Ⅰ「あやしく」・Ⅱ「たいだいしき」のそれぞれの意味の組み合わせとして最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 13 にマークしなさい。

- ① Ⅰ 見苦しいと Ⅱ 腹立たしい
- ② Ⅰ 不審だと Ⅱ とんでもない
- ③ Ⅰ 不屈きだと Ⅱ 重大な
- ④ Ⅰ 異常だと Ⅱ 怠慢な

問十四 空欄 X に入る助詞として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 14 にマークしなさい。

- ① さへ
- ② だに
- ③ なむ
- ④ こそ

問十五 傍線部⑪「知れらむ」の文法的説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 15 にマークしなさい。

- ① ラ行四段動詞の已然形＋助動詞「らむ」の連体形
- ② ラ行下二段動詞の未然形＋助動詞「む」の連体形
- ③ ラ行下二段動詞の未然形＋助動詞「る」の未然形＋助動詞「む」の連体形
- ④ ラ行四段動詞の已然形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の連体形

問十六 傍線部⑫「ともかくも聞こえ給はで泣く泣くまかで給ひぬ」とあるが、このときの橘千蔭の心情の説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 16 にマークしなさい。

- ① 帝の発言から、忠こそその失踪が自分の忠こそへの不幸な誤解のせいであることに気づかされ、忠こそにつらく当たったことを深く悔やんでいる。
- ② 帝から、忠こそが誰かにだまされて過失を犯しこれ以上宮仕えできない状態にあることを知らされ、忠こそを何とかして救おうと苦慮している。
- ③ 帝が、急に妻である故左大臣の北の方の悪口を言い出したことが腹立たしくも悲しくて、これ以上宮仕えすることはできないと辞職を覚悟している。
- ④ 帝から、忠こそを探するための手がかりを与えられて嬉しくなり、一刻も早く忠こそを探しに出かけようと、はやる気持ちを抑えきれないでいる。

問十七 問題文の内容に合致するものを次の中から選び、その番号を解答番号 17 にマークしなさい。

① 橘千蔭は、以前自分が言ったことが帝を不快にさせてしまったことがあり、そのことについて帝から叱責されることを恐れて、帝からの呼び出しに最初は応じなかった。

② 帝は、忠こそが何か嫌なことがあって姿を消したのではないかと思い至り、橘千蔭が忠こそにこの世に嫌気がさすようなことを言ったことがその原因だろうと推測した。

③ 帝は、故左大臣の北の方が継子となった忠こそを虐待しているのに、橘千蔭が故左大臣の北の方の言いなりになって忠こそに味方してやらなかったのを、薄情だと厳しく叱責した。

④ 橘千蔭は、亡くなった北の方の遺言に従い、未亡人となっていた故左大臣の北の方と気が進まない再婚をしたが、そのせいで忠こそを失うことになり、激しく後悔した。

問十八 『うつほ物語』より前に成立した作品を次の中から二つ選び、その番号を解答番号 18 と解答番号 19 に、それぞれ一つずつマークしなさい。

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| ① 『伊勢物語』 | ② 『源氏物語』 | ③ 『栄花物語』 |
| ④ 『保元物語』 | ⑤ 『拾遺和歌集』 | ⑥ 『日本霊異記』 |

2

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

幼少期に埋め込まれるステレオタイプは、ふるまいや能力、進路選択にも影響する。

このことを指摘するうえで、たびたび x にあげられてきたおもちゃがマテル社の「バービー人形」だ。2023年に公開された映画『バービー』（グレッタ・ガーウィグ監督）の冒頭でも 1 示唆されるのだが、もともと人形遊びは「母親になる練習」として女の子たちにあてがわれていた。

『プリンセス願望には危険がいっぱい』（2012年）という本を書いているジャーナリストのペギー・オレンスタインは、赤ちゃん人形は「弱まりつつある白人少女の母性本能を復活させ、妊娠と言う愛国的義務を思い出させるための一手段」として導入されたという見方をしている。

1960年代に性別役割分担が流動的になる中で、① 1959年に登場したバービーは新しい独立独歩の女性像で、それが外見によって築かれているという点はあれども「フェミニストの 2 グウゾウ」だったとペギーは論じる。

以来、バービー人形は米国を代表する玩具となり、長い間、女の子たちの「ほしのおもちゃ」ナンバー1を誇示してきた。

a、その「セクシー」な見た目などから、学術界、とりわけ心理学の研究者などからは、度々、名指しで批判されている。

b、4〜7歳の37人の女の子たちを対象に、自分が将来なれると思う仕事、男の子が将来なれると思う仕事を挙げてもらうと、特にバービー人形で遊んでいた女の子は、自分がなれると思う仕事の幅が狭いと指摘する論文がある。

少女／女性が「身体」や「外見」で価値があるとみなされることに対する精神的な負担については、アメリカ心理学会（APA）の議論が引用されており、現実にはあり得ない体型としてバービー人形は批判されてきた。

② このような状況を変えようという動きもある。堀越英美『女の子は本当にピンクが好きなのか』（2019年）は、売上げ 3 フリンに悩むマテル社を差し置き、2010年代以降、若き女性起業家などにより、様々な 4 代替の人形が提案

されていることを紹介している。

マテル社も、人種やバービーが就く職業の多様性も考慮するようになり、初期のファッションだけを強調した服装だけではなく、宇宙飛行士や医師、弁護士、それから映画では大統領にも女性が就任しているように、「女の子は何にでもなれる」を表現しようとしてきた。

近年では、ダウン症のバービーや車いすに乗っているバービー、体型についても2016年にオリジナルに加え、トール（長身）、カービー（ふくよか）、プチ（小柄）の3種類を加えるなどの取り組みをしている。

2023年にはマテル社が全面協力している映画『バービー』で、^⑧ 自虐的にも見えるほど、実際よりも*デフォルメされた男性ばかりで意思決定をしているマテル社が描かれ、多様性に向き合う姿勢がうかがえる。

女の子といえばファッションや家事関連（ままごと）という固定観念を脱するようなおもちゃが増えてきている。

女の子のための工作おもちゃ GoldieBlox を作ったスタンフォード大学出身のデビー・スターリングは「Inspiring the next generation of female engineers（次世代の女性エンジニアを^③鼓舞する）」という*TEDトークで、自身が工学部に入った後に男性が多いクラスで課題に苦戦し、それには幼少期にレゴを買い与えてもらえなかったことなどが不利に働いているのではないかと考え、起業した^⑤ ケイイを*プレゼンしている。

スターリングが^④ 言及したレゴ社も、最近では、パステルカラーやプリンセスのお城を作るレゴを売り出しており、大手のおもちゃメーカーも変化している。これらが伝統的に女の子の色とされているピンクや薄紫であることが気になる人もいるかもしれないが、既にある程度バイアスが入っている社会で、^④ まず手に取ってもらう上では致し方ないのだろう。

このような動きの中で、2013年にトイザらスのスウェーデンの店舗が、2015年に米国で小売り大手ターゲットが、玩具売り場での性別表示を^⑤ 撤廃すると発表。日本玩具協会が主催する「日本おもちゃ大賞」でも、従来の「ボーイズ・トイ／ガールズ・トイ部門」が廃止され、2021年から新たに「キャラクター・トイ部門」等として統一するなどの動きがある。

ただし、保育の現場などでは、ただニュートラルなおもちゃを与えるだけではなく、積極的な働きかけが必要だとも言われている。

青野篤子は『ジェンダー・フリー保育』のあとがきに、自身の息子が5歳くらいのところに野球のグローブを欲しがり、買ってあげるにあたり、2歳上の娘にも同じように買ってあげたものの、⑤娘のほうはきれいなまま放置され、結局息子はめいっばい使ってボロボロになり、姉のものも譲り受けて使うことになったというエピソードを紹介している。「ジェンダー・フリー教育は、ひよつとすると、こんなふうに男女に同じものを与えてそれつきりになっていることが多いのではないだろうか」という⑥青野のつぶやきは、身に染みる。

この本が保育園などで実施する内容として提案しているのは、女の子も男の子もお姫様とロボットが両方描かれている塗り絵に親しんでもらったり、「新種の花」「未来の車」などを想像して描いてもらったりする*アクティビティ、青のクレヨンのみ、ピンクのクレヨンのみで自由に絵を描くなどのアクティビティだ。

これらをした後に、園児の描く絵のモチーフや色に変化が見られるかどうかを調査すると、女兒の寒色の使用率や男児の暖色の使用率が増加し、使用する色が全体的に増えたそう。男児が描く花は増加する一方、女兒による「メカ」は増えないなど⑦カタヨリはあるものの、日常の中で働きかけを繰り返す行くと子どもの選択肢の幅が広がるという。

次世代にジェンダーギャップを再生産させないためには、大人が⑧自分たちの言動に潜んでいるバイアスにまず自覚的になることが第一歩だ。子どもにバイアスが伝わるのは、幼稚園・保育園や学校だけではない。家庭においてもだ。

いくら口で男女平等を伝えていても、料理や洗濯をするのが「お母さん」の役割であり続けられ、子どもたちのままごとにそれは反映される。男性の育児取得に対して企業の目標値設定と公表の義務化も決まり、男性が使えるおむつ替えスペースも増えるなど、育児にかかわる父親も増えている。

一方で、子どもが接するものの多くは未だに「お母さん^{いま}」が使うことが前提とされていることも多い。大学生向けの授業では、複数の紙おむつのCMやお弁当関連の商品のCMを視聴している。今の大学生は、多くがCMに違和感を覚えたところ

メントする。

「父親はどこに?」「シングル家庭かと思う(が、あとからお父さんが一瞬映って影の薄さが気になる)」という視点は、過去にそれらのCMが性別役割分担意識に基づいているとして炎上したということを知らなかった学生でも、大半が気づき、指摘できる。

c、乳幼児の世話については「大変そう」という声が多く、このようなCMが流れていると子どもを持ちたくなくなり、少子化を(オ)ジョジョウするのではとの感想も多かった。

母親にはもともと母性愛が備わっていて、母親であれば誰もが上手に子育てができるはずだ……という言葉説を⑧母性愛神話という。「神話」と言うように、これは「3歳までは母親の手で育てるのがよい」といった三歳児神話とともに否定されている。

フランスの歴史学者フィリップ・アリエスが1960年に書いた『〈子供〉の誕生』は、近代化以前はそもそも「子供」という定義自体があいまいで、明確な年齢への意識などが作られたのは学校教育などが始まってからであることを、歴史的資料や絵画などから明らかにしていく。アリエスは、時代によつては子どもが死ぬことはよくあることで、それにより親が嘆き悲しむこともなかったと主張する。

アリエスを踏まえて書かれたエリザベート・バダンテールの『母性という神話』(原著初版1980年)も非常に面白い。⑨母性愛は19、20世紀に献身と自己犠牲という態度とともに付け加えられたイメージであることを示す本だ。

哲学、歴史学を研究しフェミニストでもあるバダンテールは、フランスを中心とするヨーロッパの歴史的な記録から、次のように考察する。18世紀のフランスでは、非常に収入が低く子どもを里子に出したくても出すことができなかった工場労働者や農家などを除き、あらゆる階層で里子に出すことは非常に一般的であった、と。

職人など多忙な家族は経済的理由により、より上級階級は単に子どもが親の社交や夫婦関係において邪魔者であったために、乳母を雇う、あるいは田舎へ里子に出し、子どもの健康状態や生死に対しては無関心であった。

バダンテールによれば、このような状況に変化がみられるのは、18世紀後半からである。背景として、人口調査への関心、人間の商品価値が認識されるようになるとともに、国家の富となる人間の数を増やすことが国家にとって重要になり、子どもを生き延びさせることが至上命題となったことが挙げられる。人道主義やキリスト教的隣人愛ではなく、投資の対象として、国家の利益のために親の責任という観念が打ち立てられ、母親がその役割を求められるようになったという。

バダンテールによれば、哲学者や医師などは、母親としての役割を果たすことを「道徳」として説き、神学者らは母親たちが進んで役割を引き受けるように仕向け、子育てを拒否することは罪であるとの脅迫を伴って母親たちを説得しにかかった。こうして、19世紀に母親の責任が強調され、20世紀にはそれを果たせないことは母親の罪過となっていく――。

自分の乳で子どもを育てる（里子に出さない）、四六時中見守るといった養育に、しつけ・教師の役割も加わり、よい母親になるために女性が教育を受けることが推奨されるようになっていった。子どもに対する愛がないことは許されない罪とされたり、外で働くことなどが非難されるようになったりしたことについて、バダンテールは、義務がここまで強調されるのは逆に、本能に任せていたら達成されなかったからであるということを示してもいると指摘する。

⑩バダンテールの議論に反論がないわけではないが、母親がわが子に対して当然持つべき「母性」「母性本能」「母性愛」というものは、決してすべての女性に備わった y などではなく、数百年のうちに作られたものであるというのが現代の見方だ。

d、こうした母性愛神話は今もCMなどの形で、あるいは各家庭において、子どもたちのマインドに忍び込んでくる。

（中野円佳『教育にひそむジェンダー』による。ただし、一部省略がある。）

〈注〉 *デフォオルメ：対象を変形して表現すること。

*TEDトーク：各分野の専門家や著名人などによるスピーチを公開したもの。

*プレゼン：プレゼンテーションの略。ここでは、自分の意見や考えを発表すること。
 *アクティビティ：ここでは、遊びの意。

問一 傍線部(1)～(5)に該当する漢字の読み方と同じ読みをするものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を、
 (1)については解答番号20に、(2)については解答番号21に、(3)については解答番号22に、(4)については解答番号23に、(5)については解答番号24に、それぞれマークしなさい。

- | | | | | |
|--------|------|------|------|------|
| (1) 示唆 | ① 循環 | ② 俊敏 | ③ 連鎖 | ④ 莊嚴 |
| (2) 代替 | ① 忍耐 | ② 変容 | ③ 背反 | ④ 圧巻 |
| (3) 鼓舞 | ① 佳境 | ② 渋滞 | ③ 利己 | ④ 周縁 |
| (4) 言及 | ① 盟友 | ② 困窮 | ③ 途次 | ④ 喝采 |
| (5) 撒廃 | ① 戸籍 | ② 棄却 | ③ 散髪 | ④ 献杯 |

問二 傍線部(ア)～(オ)に該当する漢字と同じ漢字を含むものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を、(ア)については解答番号25に、(イ)については解答番号26に、(ウ)については解答番号27に、(エ)については解答番号28に、(オ)については解答番号29に、それぞれマークしなさい。

(ア) グウゾウ

- ① 奇数とグウ数
- ② 経験者を優グウする
- ③ 伸グウに参拝する
- ④ 庭の一グウに花を植える

(イ) フシン

- ① 家を普シンする
- ② 草野球のシン判を務める
- ③ シン仰心に目覚める
- ④ ガラス戸がシン動する

(ウ) ケイイ

- ① 首イをひた走る
- ② 北イ三十度
- ③ 臓器イ植

(エ) カタヨリ

- ④ イ曲を尽くして説明する
- ① 底ヘンの長さを計算する
- ② 都市部に人口がヘン在する
- ③ 諸国をヘン歴する
- ④ 身体にヘン調をきたす

(オ) ジョチヨウ

- ① 液体が膨チヨウする
- ② チヨウ蛇の列に並ぶ
- ③ 人気の絶チヨウ
- ④ 話のチヨウ複を避ける

問三 空欄 a 〓 d にあてはまる語の組み合わせとして最適なものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を

30 にマークしなさい。

① a しかし b たとえば c また d にもかかわらず

② a にもかかわらず b しかし c たとえば d また

③ a また b にもかかわらず c しかし d たとえば

④ a たとえば b また c にもかかわらず d しかし

問四 空欄 x にあてはまる語として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 31 にマークしなさい。

① 櫓 やぐら

② 棚 やりだま

③ 槍玉

④ 軍配

問五 傍線部①「1959年に登場した「バービー」とあるが、「バービー人形」について説明したものとして適切でないものを次の中から選び、その番号を解答番号 32 にマークしなさい。

① 白人女性の母性本能を刺激し復活させるために、母親になる練習をする玩具として開発された。

② 伝統的な性別役割分担が揺らぎはじめた時代を象徴する、自立した女性像として考案された。

③ 身体や外見に女性の価値を見ているようにみなされて、心理学の世界からの反発を招いた。

④ 新しい女性のイメージをもたらしたが、時代の流れの中で多様な外見や職業を表す姿形へと変わっていった。

問六 傍線部②「このような状況」とはどのような「状況」のことか。その説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 33 にマークしなさい。

- ① バビー人形が女性の愛国的な義務を思い出させる玩具として利用されている状況。
- ② バビー人形が外見だけで批判されるような、皮相な言説がまかり通っている状況。
- ③ バビー人形のような、人形の価値を体型に見ることへの反発が生まれている状況。
- ④ バビー人形が少女や女性の生き方に影響を与え、精神的な負担となっている状況。

問七 傍線部③「自虐的にも見えるほど」とあるが、どのような点が「自虐的にも見える」というのか。その説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 34 にマークしなさい。

- ① バビー人形を考案した苦勞を必要以上に誇張して描いている点。
- ② ヒット商品を生んだ会社のありようを戯画的に対象化している点。
- ③ 外見に特化した人形を生んだ会社が実際は多様性を求めている点。
- ④ 全面協力と言いながら参加者は男性社員のみだったと暴露した点。

問八 傍線部④「まず手に取ってもらおう上では致し方ないのだろう」とあるが、何が「致し方ない」のか。その説明として

最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 35 にマークしなさい。

① 工作おもちゃなので子どもが楽しく遊べればいいだけに、売り上げを考えて目につきやすい派手な色合いにしていること。

② 工学部で苦戦したという女性の話を受けて、女の子でも遊べるように女の子用のピンクや薄紫色の製品を作り出していること。

③ 性別に関係なく遊べる工作おもちゃの製造を試みながら、色彩については性差に基づいた伝統的な色合いを用いていること。

④ 伝統的に女の子の色だとされているピンクや薄紫をあえて用い、性差に否定的な社会的風潮にあらがって商品を開発したこと。

問九 傍線部⑤「娘のほうはきれいなまま放置され」とあるが、なぜそうなったと考えられるか。その説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 36 にマークしなさい。

① 2歳下の弟のまねをするほど自分では子どもではないと思っていたから。

② 娘と息子に同じ遊び道具を与える母親の行為に疑わしさを抱いたから。

③ 弟と同じ遊び道具を与えられてもどうすべきかわからなかったから。

④ 母親がせっかく買ってくれたので汚さないようにしようと考えたから。

問十 傍線部⑥「青野のつぶやきは、身に染みる」とあるが、そう述べるのはなぜか。その説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 37 にマークしなさい。

① 保育の現場ではジェンダー・フリーのニュートラルなおもちゃが与えられているのに、使い方については積極的な説明がなされていないから。

② ジェンダー・フリーに賛同する自分がうまく行動できているかどうかが顧みられ、戒めの言葉としなければならぬということが実感されたから。

③ 「青野のつぶやき」は子どもにも野球のグローブを買い与えた体験を思い出させ、与えるだけでそのあと何もしなかったことが反省されたから。

④ 男の子と女の子では好きなものが異なっているのに、同じ遊び道具を与えるだけで満足していた過去の自分のことがひどく悔やまれたから。

問十一 傍線部⑦「自分たちの言動に潜んでいるバイアス」とあるが、その具体例として適切でないものを次の中から選び、その番号を解答番号 38 にマークしなさい。

① 家庭内で料理や洗濯をするのはもっぱら母親の役目になっている。

② 夫が育児休暇を取得して率先して育児にかかわっている。

③ 紙おむつのCMに赤ちゃんと母親のみを登場させる。

④ 女の子にはお姫様の、男の子にはロボットの塗り絵をさせる。

問十二 傍線部⑧「母性愛神話」とあるが、ここでの「神話」の意味を説明したものとして最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 39 にマークしなさい。

- ① 過去から現在に至るまで、時代の変化を超越して存在し続けているもの。
- ② 神々の宣託に従って人間にもたらされた、軽々しく触れてはならない厳かなもの。
- ③ 絶対的な価値観を示してはいるが、時代の流れの中で否定されていくもの。
- ④ 実証されているわけではないのに、確かなものとして強く信じられているもの。

問十三 傍線部⑨「母性愛は19、20世紀に献身と自己犠牲という態度とともに付け加えられたイメージである」とあるが、バダンテールは「母性愛」が「付け加えられた」背景にどのような事態をみているか。その説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 40 にマークしなさい。

- ① 人口調査が実施される中で子どもも人権を有した存在として考えられるようになり、子育てをする母親への敬意が国家をはじめ哲学者や医師、神学者らに共有されるようになったこと。
- ② 人口確保が国家の至上命題となる中で母親の役割を人道的、宗教的に説く哲学者や医師、神学者らの思惑を越えて、国家自身の利益のために子育てする母親の役割を重視していったこと。
- ③ 人道主義やキリスト教的隣人愛を否定して母親に子育ての役割を一方的に押しつける国家に対抗し、哲学者や医師、神学者らが子育ては元来母親に備わった役割であるという考えを流布させたこと。
- ④ 国家の利益のために人口増加が企図される中で母親の責任が強調されるとともに、哲学者や医師、神学者らによって子育てにおける母親の役割の重要性が説かれるようになったこと。

問十四 傍線部⑩「バダンテールの議論に反論がないわけではないが」とあるが、どのような「反論」があると考えられるか。その説明として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 にマークしなさい。

① もともと母親には母性愛が備わっているために、国家をはじめとして哲学者や医師、神学者らにそれを利用されるに至ったという反論。

② 母性愛は義務として強要される中で作られた価値観だとしても、それがそのまま母性全般を否定することには直結しないという反論。

③ どれほど国家をはじめ哲学者や医師、神学者らが母性愛を強調したところで、母性愛そのものはすでに女性から失われていたという反論。

④ 母性愛に関して義務と本能は決して相反するものではなく、母性愛の本能のままに母親たちは義務と責任を遂行していたという反論。

問十五 空欄 にあてはまる語として最適なものを次の中から選び、その番号を解答番号 にマークしなさい。

① 権利

② 母性愛

③ 本能

④ 役割

問十六 問題文の内容に合致するものを次の①～⑦の中から二つ選び、その番号を解答番号 43 と解答番号 44 に、

それぞれ一つずつマークしなさい。

- ① 幼少期に培われるふるまいや能力は子どもの将来に影響するので、大人たちは子どもの資質や性格をいち早く見抜かなければならない。
- ② ジェンダーギャップが再生産されている世の中であって、大人たちは自らが再生産に加担していないかどうかを自覚する必要がある。
- ③ 保育園などで実施されているジェンダー・フリー教育は画一的であり、かえって子どもたちの選択肢の幅を狭めている。
- ④ 今の大学生はジェンダーギャップに敏感であり、性別による役割分担を否定して男女平等を実行しようとしている。
- ⑤ 子どものおもちやが多様化し性別表示が取り払われたことの背景には、男女不平等を隠蔽しようとする企業の思惑がある。
- ⑥ 現代では、女性に備わっているとされる母性愛は歴史の中で作られた観念であるという考え方が主流になっている。
- ⑦ 母性愛神話はすでに失墜しているにもかかわらず、CMの世界ではその復活を目指して映像を制作している。

国 語		
問題	解答番号	正解
1	1	1
	2	2
	3	2
	4	4
	5	1
	6	3
	7	2
	8	1
	9	4
	10	4
	11	3
	12	1
	13	2
	14	2
	15	4
	16	1
	17	2
	18	1・6
	19	
2	20	3
	21	1
	22	3
	23	2
	24	4
	25	1
	26	4
	27	2
	28	2
	29	2
	30	1
	31	3
	32	1
	33	4
	34	2
	35	3
	36	3
	37	2
	38	2
	39	4
	40	4
	41	2
	42	3
	43	2・6
	44	